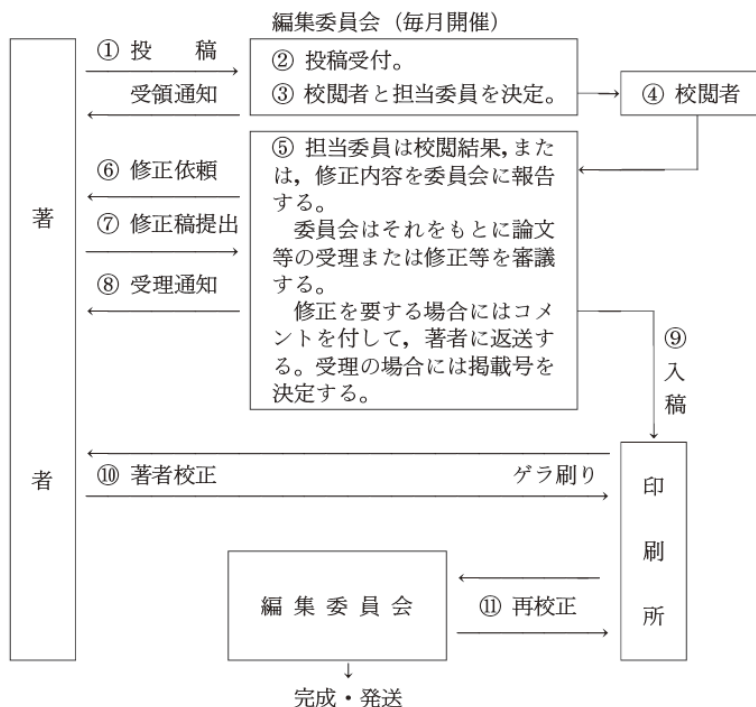


論説等で投稿された原稿の編集の流れは、下の図のようになります。



- ① 投稿にあたっては投稿規程と原稿作成要領（毎巻1号掲載）を熟読の上、不備のないよう確認して下さい。
- ② それらの規定に沿った原稿と判断された場合は受付となりますが、それ以外の場合には理由を付して著者へ返却します。
- ③ 研究の内容にふさわしい会員を校閲者として依頼し、忌憚のない意見をうかがいます。編集委員会では同時に専門分野の近い委員を当該論文担当委員とし、校閲を行います。
- ④ 論説等の校閲は原則として会員をお願いいたしておりますが、内容によっては会員以外の方に校閲をお願いすることがあります。校閲は通常1ヶ月以内に完了するようお願いしています。
- ⑤ 校閲は基本的に（1）論説等の種類に合致した内容であるが、（2）論点が明確でオリジナリティーが認められるか、（3）論旨の飛躍はないか、資料の吟味や解釈が正しく行われているか、考察に無理はないか等を重点的に審査します。
- ⑥ 校閲意見を整理し、修正点や検討を要する部分を具体的に示したコメントを原稿とともに送付いたします。
- ⑦ 送付されたコメントを参考に原稿を速やかに修正したのち、旧原稿とともに返送願います。その際、校閲意見に対するコメントおよび修正箇所を明記したメモ等を添えて下さい。
- ⑧ 受理通知では、掲載号および著者校正予定日を合わせてお知らせいたします。
- ⑨ 会誌は、入稿後約3週目に初校となります。別刷りは、会誌印刷完了後1ヶ月前後遅れて、著者宛に印刷所から郵送されます。
- ⑩ 著者校正は初校のみです。1週間以内に返送して下さい。
- ⑪ 再校正は編集委員会にて行います。体裁の統一のため、著者校正と組版イメージが若干変わりが得ることをご承知置き下さい。